

憲法記念行事の実施概要（～昭和63年）

年度	テーマ	行事形式	講師等	備考
63	市民生活と憲法	講演	演題 「はかり知れない人生」 コラムニスト 青木 雨彦さん	5月2日 音楽文化会館 (370人)
		アトラクション	合唱 女声コーラス 華	
62	市民生活と憲法	講演	演題 「子どもに平和でやさしい明日を」 作家 早乙女 勝元さん	5月2日 音楽文化会館 (290人)
		アトラクション	新潟市消防音楽隊による吹奏楽演奏	
61	平和と憲法	講演	演題 「子どもに平和とはとどう考えさせるのか？」 教育評論家 阿部 進さん	5月3日 音楽文化会館 (350人)
		アトラクション	合唱 コーラス 青葉	
60	婦人と憲法	講演	演題 「山登りと健康」 医師・登山家 今井 通子さん	5月3日 (500人)
		アトラクション	合唱 女声コーラス すなやま	
59	市民生活と憲法	講演	演題 「誰かとどこかで」 放送タレント 永 六輔さん	5月3日 (450人)
		アトラクション	伝承芸能発表 新潟市伝承芸能保存会	
58	福祉と憲法 ー老人問題を考えるー	講演	演題 「高齢化社会を生きぬくために」 日本女子大学教授 一番ヶ瀬康子さん	5月3日 (530人)
		アトラクション	障害者による音楽演奏 ハンディキャップレクリエーション研究会	
57	障害をもつ人をめぐって	講演	演題 「人間についてく」 小説家 水上 勉さん	5月3日 (500人)
		アトラクション	障害者による音楽演奏 ハンディキャップレクリエーション研究会	
56	若者と憲法 ーあすの人間像ー	講演	演題 「かいこだけが絹を吐く」 評論家・日本青少年研究所理事長 扇谷 正造さん	5月3日 (525人)
		アトラクション	新潟フォークフェスティバル フォークグループ員 60人	
55	女性の生き方 ー私達は何をなすべきかー	講演	千葉工業大学教授 木村 治美さん	5月3日 (480人)
		市民による体験発表	主婦 武藤 直子さん 北越銀行調査役 真野 美智子さん	
		座談会	講師出席 司会者（主婦） 山田 和子さん	音楽文化会館 練習室

5 4	憲法の中の 子供たち 一人間の尊さを 守るためにー	講 演	児童教育研究家 金沢 嘉市さん		5月3日 音楽文化会館 (400人)
		パネルディスカ ッション	講師出席 新潟大学教育学部助教授 斎藤 勉さん 入船小学校教諭 大森 修さん 青山小学校教諭 伴 典子さん 上山小学校教諭 本間 文雄さん 東山の下小学校教諭 斎川 英子さん		5月4日 中央公民館
5 3	老人の生きがい ー私達は何を なすべきかー	パネルディスカ ッション	司会者 新潟日報論説委員長 長沼 甲子男さん  パネリスト 松風園副院長 笠井 久司さん 新潟青陵短大助教授 本田 典子さん 市老人クラブ連合会副会長 吉田 了観さん 市長 川上喜八郎		5月3日 音楽文化会館 (570人)
5 2	憲法と生活	講 演	東京大学教授 渡辺 洋三さん		5月3日 市公会堂 (550人)
		市民による私の 考え	伊藤 克彦さん	福祉社会と障害者	
			国兼 昭さん	創造	
		福田 孝子さん	憲法と婦人の立場		
5 1	市民生活と憲法	講 演	東京大学教授 潮見 俊隆さん		5月3日 市公会堂 (470人)